人間総合科学研究群(体芸)

前期_体育学学位プログラム
前期_ニューロサイエンス学位プログラム
前期_スポーツ・オリンピック学学位プログラム
前期_芸術学学位プログラム
前期_デザイン学学位プログラム
前期_世界遺産学学位プログラム
3 年制博士課程_ヒューマン・ケア科学学位プログラム
3 年制博士課程_パブリックヘルス学位プログラム

※　選考方法を確認してください。

科目の申請にあたっては、開設授業科目一覧の「申請条件」欄にかかわらず、ホームページ掲載の「選考方法について」　を参照し、選考方法、面接までの流れを確認してください。
出願前に必ず教育組織に連絡し、面接日時等を確認してください。

学位プログラム名	受入有無	選考方法	面接者	面接日時（春学期）	面接日時（秋学期）	留意事項	連絡先
ヒューマン・ケア科学学位プログラム（3年制博士課程）	有	書類審査及び面接	授業担当教員	随時行う	随時行う	出願書類を提出する前に事前連絡をすること	hc_ph_adm@un.tsukuba.ac.jp
パブリックヘルス学位プログラム（3年制博士課程）	有	書類審査及び面接	授業担当教員	随時行う	随時行う	出願書類を提出する前に事前連絡をすること	hc_ph_adm@un.tsukuba.ac.jp
ニューロサイエンス学位プログラム（博士前期課程）	有	書類審査及び面接	学位プログラムリーダー	本人と打ち合わせの上、決定	本人と打ち合わせの上、決定	出願書類を提出する前に事前連絡をすること	029-853-2999
ニューロサイエンス学位プログラム（博士後期課程）	無						
スポーツ医学学位プログラム（3年制博士課程）	無						
体育学学位プログラム（博士前期課程）	有	面接	授業担当教員	随時行う	随時行う	履修目的を明確にすること	tg-taiikugaku#@#un.tsukuba.ac.jp (#@#を@に置き換えてください)
スポーツ・オリンピック学学位プログラム（博士前期課程）	科目により受入れ有	書類審査	–	–	–	–	–
体育科学学位プログラム（博士後期課程）	無						
コーチング学学位プログラム（3年制博士課程）	無						
芸術学学位プログラム（博士前期課程）	有	書類審査及び面接	授業担当教員	随時行う	随時行う	履修目的を明確にすること	art_design_adm#@#un.tsukuba.ac.jp (#@#を@に置き換えてください)
芸術学学位プログラム（博士後期課程）	無						
デザイン学学位プログラム（博士前期課程）	有	書類審査及び面接	授業担当教員	本人と打ち合わせの上、決定	本人と打ち合わせの上、決定	出願前に学位プログラムリーダーの承諾を得ること	art_design_adm#@#un.tsukuba.ac.jp (#@#を@に置き換えてください)
デザイン学学位プログラム（博士後期課程）	無						
世界遺産学学位プログラム（博士前期課程）	有	書類審査及び科目により面接	授業担当教員	本人と打ち合わせの上、決定	本人と打ち合わせの上、決定	出願書類を提出する前に事前連絡をすること	info#@#heritage.tsukuba.ac.jp (#@#を@に置き換えてください)
世界遺産学学位プログラム（博士後期課程）	無						

体育学学位プログラム(博士前期課程)

領域科目(コーチング学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP9H1	バスケットボールコーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB秋C	水2 水1,2	体育・芸術エリア	池田 英治	複雑なバスケットボールの競技特性について言及する最新の内外のスポーツ科学・トレーニング科学等の諸々の知見を援用しながら、バスケットボール競技のコーチングを、(1) 競技力の構造、(2) コーチの思想・倫理論(フィロソフィー、ディシプリン)、(3) チームマネジメント論、(4) 体力論(エネルギー系体力の内実)、(5) トレーニング論I(期分け、トレーニング構成)、(6) トレーニング論II(最適トレーニング)、(7) 技術・戦術論I(基礎技術、個人戦術)、(8) 技術・戦術論II(グループ戦術、チーム戦術)、(9) 学習・指導論(練習の多様性、文脈干渉効果)などの多角的視点から検討する。	対面(オンライン併用型)	△	授業担当教員の判断による	体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP9J1	ハンドボールコーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB秋C	木2 木3,4	体育・芸術エリア	會田 宏,藤本 元,山田 永子	国内外における文献の精読を通して、ハンドボールのコーチングに関する基礎理論および応用理論について学習する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP9K1	サッカーコーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB秋C	木3 木3,4	体育・芸術エリア	中山 雅雄,小井土 正亮	サッカーコーチに求められる資質である論理的思考とコミュケーション能力を高めることと、修士論文作成に向けての科学的手法によるサッカーのコーチング関する問題解決能力を高める。サッカーの指導に必要な具体的な問題を自ら設定し、それに関わる内外の文献資料を広く収集する。そして、自らのテーマに関して口頭で発表し、発言能力を高める。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP9M1	ラグビーコーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB秋C	火2 火・木2	体育・芸術エリア	古川 拓生	授業は演習形式とし、ラグビーコーチングに関する様々な文献・映像の検討と討論を通して、基本的な知識の習得と各自の研究課題の明確化を図ることを目的とする。授業では、最初に様々なゲームパフォーマンス分析の手法について学ぶとともに、実際の分析手法を用いてゲーム構造に関する理解を深める。次に分析ツールを利用したデータ収集と解析を行い、パフォーマンスの評価法について学習する。最後に先行研究を元に各自で設定したコーチングやトレーニングに関する課題に対してデータの収集と検討を行い、実践知の習得を図る。	対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP9N1	ラケットバットスポーツコーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB秋C	火3 火3,4	体育・芸術エリア	川村 卓,吹田 真士,奈良 隆章,三橋 大輔,野中 由紀	野球・卓球・テニス・バドミントンなどそれぞれの種目固有の特性を学ぶ。ラケットバットスポーツの歴史・指導方法そして研究に関してその意義と現状との差異に関して集団で討論し、また、発育段階における問題点を明らかにして、体系的な指導方法に関してモデルの構築を行う。それを通じてコーチングと研究遂行する基礎的資質を身に着ける。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP9Q1	剣道コーチング論演習I	2	3.0	1	春AB 秋AB 秋C	金3 随時 金3,4		鍋山 隆弘,有田 祐二	研究論文作成のために必要な剣道の試合・審判・形(型)・指導法についての素養を身につける。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP9T1	舞踊論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB秋C	火4 火3,4	体育・芸術エリア	平山 素子,寺山 由美	舞踊(ダンス)分野に関する国内・国外の文献、資料を中心に近年の舞踊論における研究の動向と諸問題について学習するとともに、舞踊論の研究方法論について理解を深める。さらに、研究対象を明確にするための考察を行う。	要相談			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP9T3	舞踊表現技術実習	2	1.0	1	春AB 秋AB	木4 水2	ダンス場	平山 素子	コンテンポラリーダンスを扱う。呼吸、フロアを使ったムーヴメントやカウンターバランスなどの動きの理論を体験し、音楽、動きのコンセプトなど発想を広げる。個々が多様な身体表現の可能性を探る機会を促す。	要相談			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

系列科目(スポーツ文化・経営政策)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP101	スポーツ経営学	1	1.0	1	春AB	木2	体育・芸術エリア	清水 紀宏	体育・スポーツの推進に相応しいスポーツ経営の考え方、及び経営組織と事業運営について解説する。まず、各組織体のスポーツ経営に直接・間接的に多大な影響を及ぼすスポーツ関連法および国のスポーツ政策(スポーツ基本計画2000、スポーツ基本法2011、スポーツ基本計画2012等)について批判的に検討した上で、スポーツ経営の現代的課題とその解決に向けた経営方略を概説する。次に、スポーツ関連法及び政策の理解を基に、学校体育と地域スポーツが直面している経営課題を整理し、この領域におけるスポーツ事業や経営過程をめぐる実態と課題について検討する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP102	体育・スポーツ哲学	1	1.0	1	秋B	集中		深澤 浩洋	体育ならびにスポーツの概念、現状、背景となる思想・社会的状況について洞察する力を養うことを目指す。体育・スポーツ概念の鍵の一つである身体の捉え方や身体の経験をめぐって、体育哲学とスポーツ哲学のそれぞれのスタンスから講義を行う。 スポーツに関しては、身体的契機、知的契機、感性的契機の三契機から、また、体育に関しては、関係性、重層性、超越性という三つの視点から論ずる。 こうした基本的な考え方を踏まえつつ、体育・スポーツに関する現代的特徴を取り上げ、哲学的に考察、ディスカッションする。	オンライン(対面併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP103	スポーツ史学	1	1.0	1	秋B	集中	体育・芸術エリア	大林 太朗,山口 拓	古代の人類が創り出した「スポーツ」の起源(ルーツ)を探り、また近代スポーツの誕生と発展の歴史的変遷を検討しつつ、史実を根拠とした現代の体育・スポーツ界における諸課題へのアプローチを試みる。体育・スポーツに関する歴史学および文化人類学、開発学の理論と実践的研究についても取り上げる。	11/22,11/29,12/6 対面 【時間】 [11/22,11/29] 12:00-18:00 [12/6] 8:40-11:25			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP105	スポーツ産業学	1	1.0	1・2	春AB	木4		仲澤 眞	レジャー・スポーツ産業を対象に人文・社会科学的な視点から検討し、レジャー・スポーツ産業に関する基本的な知見を学習するとともに、当該領域における当面の問題を明らかにし、基本的研究課題を理解する。	オンライン(同時双方向型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	○
0ATP107	スポーツ政策学	1	1.0	1	春AB	水3	体育・芸術エリア	齋藤 健司,成瀬 和弥	スポーツ政策の現状と課題に対する理解を深めるとともに、スポーツ政策学の理論と視座を考える。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP110	フェアプレイ論	1	1.0	1・2	秋C	火5,6	体育・芸術エリア	深澤 浩洋	フェアネスの歴史的概観やフェアプレイを奨励する運動を踏まえ、フェアプレイが主張される意味について、複数の価値観、道徳観から考察する。また、フェアプレイを奨励する運動に言及する。実際にフェアプレイに徹するスポーツパーソンを育成するにはどうしたらよいのか、どのようにフェアプレイ教育を展開していけばよいのかということについて考察し、自分なりの見解を論理的に展開できることを目標とする。 フェアネスの概念、スポーツのルールとエトス、フェアプレイの歴史、フェアプレイをめぐる問題の語られ方(個人と組織)、アンフェアの背景、フェアプレイキャンペーン、フェアプレイ奨励の方策、フェアプレイ教育の構想	対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP111	身体文化論	1	1.0	1・2	春C	集中	体育・芸術エリア	深澤 浩洋,田 暁潔	伝統文化、体操、体育、スポーツなどを具体的に取り上げながら、文化的社会的に構築される身体と身体観について理解を深める。文化社会学、歴史学、哲学を基礎にしながら領域を越えて議論し、身体文化に対するアプローチを切り開く。	7/4,7/11 対面 【時間】各日9:00-17:00			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP113	スポーツ法学	1	1.0	1	秋AB	火3	体育・芸術エリア	齋藤 健司	スポーツに関する基本法令、判例、法制度及び法的諸問題について概説し、スポーツ法学に関する理論、スポーツ法の体系及びスポーツ法政策の基礎知識を学ぶ。 スポーツ法の体系、スポーツ基本法、スポーツ権、スポーツ仲裁法、アンチ・ドーピング法、体育に関係する法令、スポーツの知的財産権、スポーツ放送法、プロスポーツ関連法、スポーツビジネス関連法、選手契約などを解説し、議論する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP114	スポーツ行政学	1	1.0	1	春AB	月6	体育・芸術エリア	成瀬 和弥	行政学の視点から、日本のスポーツを検討し、中央政府や地方政府の組織、制度及び政策などについて、その基礎知識を学ぶ。日本のスポーツ行政過程の構造や機能について理解を深める。また、授業の後半(5回目以降)にはグループディスカッションを行う。グループごとに日本のスポーツ問題を検討し、仮説を設定してその問題を解決するための方策を立案する。グループごとに、その内容を発表し、他のグループとディスカッションを行う。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP115	スポーツビジネス論	1	1.0	1・2	秋AB	木4	体育・芸術エリア	仲澤 眞,嵯峨 寿	(1)プロスポーツの運営や(2)スポーツメーカーのブランディング、(3)スポーツツーリズムなどを事例に、スポーツとビジネスの関係について理解を深めていく講義である。	対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP116	スポーツを通じた開発論	1	1.0	1	春AB	火3	体育・芸術エリア	山口 拓	国際社会では、複雑に相互依存が深化する世界構造の下で、社会課題を改善するために、「地域・地球規模の連携」、「社会関係資本の構築」、「国際的課題の改善」を求める「スポーツを通じた開発」或は「開発と平和のためのスポーツ」行動が地球規模的に展開され始めている。 本講座では、国内外の課題を探求し、その課題に対して採られる「スポーツを通じた開発」の事例を各専門領域の理論によって読み解くために議論を交わしながら検討する。 (1)既存研究によるケースの批評的検討(3回)、(2)課題的検討(2回)、(3)方法論的検討(2回)、(4)実践的検討(3回)	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP117	スポーツメディア論	1	1.0	1・2	秋C	集中		清水 諭,下竹 亮志,有元 健	現代社会におけるスポーツイベントとメディアの親和性ついて、その歴史について学習し、映像メディアを介して表象化される人種、ジェンダー、ナショナリティの諸問題について理解を深める。 1.スポーツイベントの成立構造について、スポーツの組織と連盟、メディア、資本主義企業、そして代理店の関係から説明することができるようにする。 2.身体パフォーマンスをもとにした集合的想像力と表象、及びその文化政治について例をあげながら説明することができるようにする。 3.人間とメディアとの関係について、歴史を踏まえて、例をあげながら説明することができるようにする。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP141	地域スポーツ経営論	1	1.0	1・2	秋AB	水2	体育・芸術エリア	清水 紀宏	地域スポーツをめぐる政策動向とその背景をふまえ、地域スポーツクラブの現代的意義とその組織化の方法論について理解する。まず、地域スポーツ経営領域の特質と固有のミッションを基準としながら、わが国におけるクラブ育成状況やクラブマネジメントの実態を評価する。次に、この現状評価とクラブ理念型との乖離を埋めるクラブの戦略的課題を特定化する。さらに、経営課題を克服するための組織マネジメントの要点を、いくつかのクラブ先進事例から読み解くことで、コミュニティ振興とスポーツ振興の同時達成の方法を解説する。	西暦奇数年度開講。 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP142	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4	体育・芸術エリア	齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP143	スポーツマーケティング論	1	1.0	1・2	春C	集中		醍醐 笑部,清水 紀宏	スポーツマーケティングの目的、方法に関する基礎理論を理解するとともに、商業スポーツ施設経営やスポーツイベント経営など具体的なスポーツ経営を事例にした検討を通して、実践的な考え方を養う。	7/26,8/2 オンライン(オンデマンド型) 【時間】8:40-16:30(1-5限)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	○

系列科目(健康・スポーツ教育)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP201	体育科学習指導論	1	1.0	1	秋AB	月2	体育・芸術エリア	長谷川 悦示	良質な体育授業を実施するために必要な学習指導上の諸条能とそれを具体化していくために必要な教員の資質について模擬授業の立案計画と実施による直接的な実践体験を通して学修する。体育科教育に必要とされる学習指導方略、学習指導過程、学習組織、学習指導モデルなど専門職知識と技能について理解を深める。 受講生は複数の授業者グループごとで、授業計画を立案し、教師役・生徒役・観察者を相互に役割分担して模擬授業を実施する。体育授業を分析する方法と授業を省察する能力の向上をねらって、受講者はe-Learningによる授業評価システムを用いてビデオ収録された授業映像を視聴しながら、観察分析データを参照して授業評価・省察を実施し、反省会ではそれをもとに討議する。第1～3回は指導案作成、第4～6回は模擬授業実施。第7回に中間反省会。第8～10回は修正案による模擬授業実施。第11回は最終反省会(最終課題の確認)を実施する。	専修免許の一括申請に必要となる科目。春学期に受講希望者を対象にガイダンスを行うので、必ず出席するようにしてください 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP202	学校健康教育論	1	1.0	1	秋C	火1,2	体育・芸術エリア	片岡 千恵	本授業では、学校における健康および安全の課題について、教育的視点から論じる。具体的には、学校における健康教育の現状と課題について解説するとともに、性に関する指導、心の健康に関する指導、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育、がん教育、安全に関する教育等を取り上げ、その内容と方法について講義する。また、学校における健康教育の指導者として身に付けるべき資質・能力について概説する。本授業を通して、学校における健康教育の課題、考え方や進め方、教材づくりの実際等について、理解を深めることを目的とする。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP203	アダプテッド・スポーツ教育論	1	1.0	1	秋AB	月4	体育・芸術エリア	齊藤 まゆみ,澤江 幸則	特別支援教育におけるアダプテッド・スポーツ教育について、特別支援教育の制度とアダプテッド・スポーツ、障害のある生徒とアダプテッド・スポーツ、インクルーシブ体育とアダプテッド・スポーツ、体育・スポーツにおける支援という視点から講述し、アダプテッド・スポーツの方法について ICF(International Classification of Functioning,Disability and Health)の概念をもとに説明できること、発達障害のある子どもの実態を複合的に説明できること、発達障害のある子どもの支援に対して多面的にアイデアを出すことができることを目標としている。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP204	スポーツカウンセリング論	1	1.0	1	秋AB	火3	体育・芸術エリア	雨宮 怜	カウンセリングの基本的な理論と技法を理解するとともに、スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の健康増進および競技や日常生活におけるパフォーマンスの向上を目的とした指導や援助の基本的技術を学ぶ。スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の問題の改善やパフォーマンス向上を目的とした心理的サポートとして、指導者や援助者に必要なカウンセリングの理論と方法を、健康心理学およびスポーツ心理学の最新の知見を踏まえて学ぶ。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP210	保健社会学	1	1.0	1	秋AB	金3		武田 文,門間 貴史	健康の概念に関する医学モデルと社会モデルの各理論、健康づくり、健康増進および健康の社会的要因に関する基本パラダイムを学ぶ。また超少子高齢社会における公衆衛生の基本戦略、母子保健・産業保健の各領域における直近の健康課題とそれに対応する各種の法制度・政策・サービスの現状、保健社会学の研究事例と最新の知見を学ぶ。	オンライン(オンデマンド型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	○
0ATP213	武道授業指導論	1	1.0	1	春AB	月1	柔道場,剣道場	有田 祐二,鍋山隆弘,岡田 弘隆,増地 克之	学校における武道の指導法について検討し実習する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP215	運動学習心理学	1	1.0	1	秋AB	月4	体育・芸術エリア	國部 雅大	人間の運動学習(Motor Learning)と運動制御(Motor Control)について、知覚-運動統合の過程を中心に学ぶ。	対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP217	野外教育プログラム論	1	1.0	1	春AB	木2	体育・芸術エリア	渡邉 仁	本授業では、野外教育で展開される各種プログラムを多面的に理解し、野外教育プログラムを自ら計画・運営・評価する能力を高めることを目標とする。具体的には、各種プログラムの特徴・目的・指導法・安全管理等について理解を深めるとともに、プログラムの計画や運営する能力を高め、地域の様々な資源(自然環境、地域文化等) を生かしたプログラム開発に取り組む。授業の最終回には、グループワークとして、ある条件を満たした「野外教育プログラム」のプレゼンテーションが課される。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP218	野外教育指導論	1	1.0	1	春AB	火5	体育・芸術エリア	坂本 昭裕	野外教育プログラムであるキャンプ指導の特徴の一つは、グループをカウンセリングすることにある。本時では、1)アメリカにおけるセラピーキャンプを取り上げ、カウンセリングの理論について理解すること。2)キャンプカウンセリングの実際 (VTR) を理解すること、3)キャンプを活用したカウンセリングの方法について理解すること、さらに、4)参加者のアセスメント方法について体験的 (描画法) に理解することが目的である。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP219	体育授業観察分析法I	2	1.0	1	秋ABC	随時		長谷川 悦示	体育授業の組織的観察法についての、そのねらい、手段、手順を学習し、この方法を用いて実際の体育授業を観察し分析し評価する能力を育成する。 学習目標:体育の学習指導を方向付けている様々な研究法や理論について理解する。また、実際の授業を観察し、そこに適用されている学習指導論を分析、評価することによって、基礎的な研究力を養う。	「体育科学習指導論」を履修中もしくは修得済みの者に限る。春学期に受講希望者を対象にガイダンスを行うので、必ず出席するようにしてください。 対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP220	体育授業観察分析法II	2	1.0	1	秋AB	随時		齋藤 まゆみ,澤江 幸則	アダプテッド体育の視点をもった授業づくりのための理論を学び、特別支援学校や特別支援教育対象生徒が参加する体育授業を観察評価するとともに教材開発を行う。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP241	野外教育実習(キャンプ)	3	1.0	1	春BC夏季休業中	随時集中		坂本 昭裕,渡邉 仁	本授業では、代表的な野外教育プログラムの形態である「組織キャンプ」について、自らその教育的価値を実体験しながら、基本的な計画(事前授業)・運営(本実習)・評価(事後授業)の方法を実践的に学習する。具体的なプログラムや学習内容は、野外生活スキル、冒険教育プログラム、環境教育プログラム、キャンプマネジメント、キャンプカウンセリング、指導法、安全教育と安全管理、環境倫理、環境配慮スキル、サバイバル技術等を含んでいる。	7/19-7/23 対面 【時間】7/19-7/23終日 【場所】福島県南会津町(学外実習) 4泊5日の学外実習を行います。 事前講義を２回行います。日時は別途後日周知。			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP301	体力学特講	1	1.0	1・2	春AB	金1	体育・芸術エリア	木塚 朝博,鍋倉賢治,小野 誠司,榎本 靖士	体力・運動能力に関する様々な概念や構成要素を復習し、発達加齢段階や各種レベルに応じた測定法、最新の解析法を解説することを通して、運動遊び、エクササイズ、トレーニングなどが、健康体力や競技体力に及ぼす効果について学ぶ。	対面で実施したいが、状況によってはオンデマンドで実施する。 AT必修科目			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP107	スポーツ政策学	1	1.0	1	春AB	水3	体育・芸術エリア	齋藤 健司,成瀬 和弥	スポーツ政策の現状と課題に対する理解を深めるとともに、スポーツ政策学の理論と視座を考える。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP114	スポーツ行政学	1	1.0	1	春AB	月6	体育・芸術エリア	成瀬 和弥	行政学の視点から、日本のスポーツを検討し、中央政府や地方政府の組織、制度及び政策などについて、その基礎知識を学ぶ。日本のスポーツ行政過程の構造や機能について理解を深める。また、授業の後半(5回目以降)にはグループディスカッションを行う。グループごとに日本のスポーツ問題を検討し、仮説を設定してその問題を解決するための方策を立案する。グループごとに、その内容を発表し、他のグループとディスカッションを行う。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP142	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4	体育・芸術エリア	齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP307	体育測定評価学特講(発育発達学を含む)	1	1.0	1・2	春AB	木1	体育・芸術エリア	角田 憲治	子どもから高齢者に至るまでの体力・形態の測定法、ならびにアスリートにおけるパフォーマンス評価法の概要を学ぶ。ここでは測定法やアンケート尺度の開発における手順や検証方法についても取り上げる。また、体育学分野における研究デザインの種類や計画方法、採取したデータの評価・分析方法について概説する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP501	コーチングのバイオメカニクス	1	1.0	1	秋AB	月3	体育・芸術エリア	榎本 靖士	スポーツの技術やトレーニングを考えるための基礎となるバイオメカニクスの諸原則、動作の改善ループの考え方とその応用法、バイオメカニクスデータの解釈などについて解説し、これらの知識を動作の改善に活用するための基礎的能力を身につけることを学習目標とする。具体的には、スポーツ技術のバイオメカニクス的とらえ方、力学的エネルギー・効率・有効性指数の算出法の解説、選手の動きを評価・診断・改善するためのバイオメカニクス的知識の重要性の解説などを通して、客観的知識を基礎とするコーチングについて学習させる。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP502	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1	体育・芸術エリア	前村 公彦,谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、 課題解決法や手段の選択・創造法、 時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、 効果的なトレーニング実践法、 トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、 高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。 また、 トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	0AS0203と同一。 (2023年度まで開講) AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP506	スポーツ運動学	1	1.0	1	春AB	木2	体育・芸術エリア	中村 剛	発生運動学としてのスポーツ運動学の学問成立の経緯、基本概念、運動の分析法を講義して、運動の実践現場および研究においてもつスポーツ運動学の意義、価値の理解を深める。具体的には、体育・スポーツ領域において使われている運動の概念についての整理、運動をゲシュタルト(運動ゲシュタルト)として認識することの重要性、現場において取り上げられる動きの質の問題、実際の動きを取り上げる際に重要になる生命的な時空間の問題、そして、「できる」ということを考える際に不可欠な身体知の問題、その「できる」を支える「動感」の問題、動きの意味と価値の問題、スポーツ運動学と現象学の関係、などについて講義する。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

系列科目(ヘルスフィットネス)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP301	体力学特講	1	1.0	1・2	春AB	金1	体育・芸術エリア	木塚 朝博,鍋倉賢治,小野 誠司,榎本 靖士	体力・運動能力に関する様々な概念や構成要素を復習し、発達加齢段階や各種レベルに応じた測定法、最新の解析法を解説することを通して、運動遊び、エクササイズ、トレーニングなどが、健康体力や競技体力に及ぼす効果について学ぶ。	対面で実施したいが、状況によってはオンデマンドで実施する。 AT必修科目			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP302	スポーツ生理学特講	1	1.0	1	春AB	水2	体育・芸術エリア	武政 徹,西保岳,藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環及び体温調節系の役割について理解するため、以下のキーワードに関連して解説する。 骨格筋系のキーワード:重村式トレーニング法、筋肥大、遺伝子ドーピング、サルコペニア、冬眠、レーシングパフォーマンスを上げる遺伝子、老化を遅らせる運動 呼吸循環系のキーワード:ガス交換、酸素摂取量、血管調節、発汗調節、高地トレーニング、暑熱順化、水分調節	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP303	スポーツ生化学特講	1	1.0	1	春AB	火1	体育・芸術エリア	岡本 正洋,松井 崇	スポーツ生化学に関する国内外の専門書、文献、研究論文等を講読し、スポーツ生化学の対象領域、基本概念、研究方法などを学習することによって研究に必要な基礎的能力を身に着ける。運動が身心に及ぼす影響とトレーニング効果に関してスポーツ生化学の立場から理解を深め、健康や運動パフォーマンスの維持・増進のメカニズムを理解する。演習の最後に受講生の発表会を行い、教員と受講生の間で討議を行う。参考図書:脳を鍛えるには運動しかない(NHK出版)、 からだの中からストレスをみる(学会出版センター)、 使えるスポーツサイエンス(講談社サイエンティ)	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP304	スポーツ栄養学特講	1	1.0	1・2	春AB	水1		麻見 直美,下山 寛之	時代に即したスポーツ・運動栄養学への理解を深めるために、運動(身体活動)、トレーニング、スポーツに関連した栄養、食生活、食事摂取基準、酸化ストレス、抗酸化ビタミン、エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、タンパク代謝、骨(フィーメールアスリートトライアードを含む)、貧血、水分代謝、休養(睡眠・時差)などのトピックスを取りあげて、講義を行う。加えて、スポーツ栄養の今日的現場課題について問題理解と解決策検討について議論する。	オンライン(対面併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP307	体育測定評価学特講(発育発達学を含む)	1	1.0	1・2	春AB	木1	体育・芸術エリア	角田 憲治	子どもから高齢者に至るまでの体力・形態の測定法、ならびにアスリートにおけるパフォーマンス評価法の概要を学ぶ。ここでは測定法やアンケート尺度の開発における手順や検証方法についても取り上げる。また、体育学分野における研究デザインの種類や計画方法、採取したデータの評価・分析方法について概説する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP316	体育測定評価学実習(発育発達学を含む)	3	2.0	1・2	通年	随時		角田 憲治	子どもから高齢者に至るまでの体力・形態の測定法の実際について学習する。また、得られたデータについてのデータ分析と図表作成を実践的に行う。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP142	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4	体育・芸術エリア	齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP143	スポーツマーケティング論	1	1.0	1・2	春C	集中		醍醐 笑部,清水 紀宏	スポーツマーケティングの目的、方法に関する基礎理論を理解するとともに、商業スポーツ施設経営やスポーツイベント経営など具体的なスポーツ経営を事例にした検討を通して、実践的な考え方を養う。	7/26,8/2 オンライン(オンデマンド型) 【時間】8:40-16:30(1-5限)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	○
0ATP204	スポーツカウンセリング論	1	1.0	1	秋AB	火3	体育・芸術エリア	雨宮 怜	カウンセリングの基本的な理論と技法を理解するとともに、スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の健康増進および競技や日常生活におけるパフォーマンスの向上を目的とした指導や援助の基本的技術を学ぶ。スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の問題の改善やパフォーマンス向上を目的とした心理的サポートとして、指導者や援助者に必要なカウンセリングの理論と方法を、健康心理学およびスポーツ心理学の最新の知見を踏まえて学ぶ。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP401	運動器のしくみと働き(基礎編)	1	1.0	1・2	春AB	木4	体育・芸術エリア	平田 浩祐	運動器を構成する骨格、筋、神経系の概要を学ぶ。生物の形態は、その機能と深いかかわりを持っている。運動において関節の構造は大切であり、関節が運動を「制限」することによって目的とした運動が実現される。運動器にはさらに、腱、靭帯も重要な要素としてかかわっている。神経系は、これらの特性も考慮して筋に指令を出している。このようなことがらについて、詳細を解説していく。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP402	スポーツバイオメカニクス特講	1	1.0	1	秋AB	火4	体育・芸術エリア	藤井 範久	スポーツ動作や様々な基礎的運動をバイオメカニクス的側面から考察するために必要な基礎事項や分析手法、特に逆動力学的計算について解説する。具体的には、並進運動および回転運動における力学的法則を確認した後、剛体リンクモデルによる関節トルク算出手法について解説する。その際に、身体部分慣性特性係数についても解説するとともに、体育総合実験棟において身体運動の計測方法、地面反力の計測方法についても実演を行う。さらに、得られたデータをもとに、動作の変動性係数や動作逸脱度を用いた身体運動を評価する方法を解説する。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP403	スポーツ用具と動きのしくみ	1	1.0	1・2	春AB	金2	体育・芸術エリア	小池 関也	スポーツ用具の性能向上のためのしくみについて紹介するとともに、パフォーマンス実現のための動きのしくみ(メカニズム)について解説する。用具として、各種打具、シューズ、各種ボール、水着などを例に挙げ、パフォーマンスに関係する各種特性について、物理的な現象面あるいは生体力学的な視点から解説する。つぎに、スポーツ動作の各種分析手法を紹介したのちに、これらの分析手法を活用して得た各種動作の分析結果から、スポーツ動作における動きのしくみについて解説し、パフォーマンスの発揮メカニズムについて紹介する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP409	ヒトの身体と運動のダイナミクス	1	1.0	1・2	春AB	月4	体育・芸術エリア	佐渡 夏紀	ヒト身体は主に直立二足の移動様式に適応して形作られた。さらにヒト身体には可塑性が有り、日常の多寡に応じて適応する。競技者はトレーニングによって望ましい身体を形成しつつ身体的特徴を活かした動作様式により身体能力を最大化する。本講義では、身体の力学的特性に関するヒト一般の特徴やヒト内の個人差・可塑性と基礎的な身体運動の遂行機序の関連に関する知見を紹介・解説する。	オンライン(対面併用型) (オンライン (オンデマンド型)、対面併用。状況に応じて実施形態は臨機応変に対応する。)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP410	アスレティックコンディショニング論特講	1	2.0	1	秋AB	月5,6	体育・芸術エリア	竹村 雅裕,渡部 厚一,福田 崇	競技力向上を目的としたスポーツ傷害予防やコンディショニングの課題と方法論を多面的に解説する。	AT必修科目. 対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP411	アスレティックリハビリテーション論特講	1	2.0	1	春AB	月5,6	体育・芸術エリア	竹村 雅裕,福田 崇,奥脇 透,金森 章浩	スポーツ選手が傷害から復帰するために必要なリハビリテーションの基本を学習する。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP412	アスレティックトレーナー特講	1	1.0	1・2	春AB	随時	体育・芸術エリア	竹村 雅裕,福田 崇	アスレティックトレーナーの現状を把握し、現在まで発展してきた経緯と遺産を理解する。 歴史的背景からみたアスレティックトレーナー成り立ちや現代社会における特徴をまとめ、その将来を展望する能力を養う。	AT必修科目. 対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP413	テーピング・マッサージ実習	3	2.0	1・2	春B 春C	集中	体育・芸術エリア	竹村 雅裕,福田 崇	テーピング及びマッサージを実施する上での運動学的、解剖学的、生理学的な基礎知識や方法について解説しながら、実習を行う。実習はベーシックとアドバンストの2つに分かれて実施する。	6/14,7/14,7/15 AT必修科目. 対面 【時間】各日9:00-17:00 7/14、7/15は半袖・短パンを着用、大き目のバスタオル1枚持参すること。			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP502	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1	体育・芸術エリア	前村 公彦,谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、 課題解決法や手段の選択・創造法、 時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、 効果的なトレーニング実践法、 トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、 高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。 また、 トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	0AS0203と同一。 (2023年度まで開講) AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

系列科目(アスレティックコンディショニング)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP304	スポーツ栄養学特講	1	1.0	1・2	春AB	水1		麻見 直美,下山 寛之	時代に即したスポーツ・運動栄養学への理解を深めるために、運動(身体活動)、トレーニング、スポーツに関連した栄養、食生活、食事摂取基準、酸化ストレス、抗酸化ビタミン、エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、タンパク代謝、骨(フィーメールアスリートトライアードを含む)、貧血、水分代謝、休養(睡眠・時差)などのトピックスを取りあげて、講義を行う。加えて、スポーツ栄養の今日的現場課題について問題理解と解決策検討について議論する。	オンライン(対面併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP401	運動器のしくみと働き(基礎編)	1	1.0	1・2	春AB	木4	体育・芸術エリア	平田 浩祐	運動器を構成する骨格、筋、神経系の概要を学ぶ。生物の形態は、その機能と深いかかわりを持っている。運動において関節の構造は大切であり、関節が運動を「制限」することによって目的とした運動が実現される。運動器にはさらに、腱、靭帯も重要な要素としてかかわっている。神経系は、これらの特性も考慮して筋に指令を出している。このようなことがらについて、詳細を解説していく。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP402	スポーツバイオメカニクス特講	1	1.0	1	秋AB	火4	体育・芸術エリア	藤井 範久	スポーツ動作や様々な基礎的運動をバイオメカニクス的側面から考察するために必要な基礎事項や分析手法、特に逆動力学的計算について解説する。具体的には、並進運動および回転運動における力学的法則を確認した後、剛体リンクモデルによる関節トルク算出手法について解説する。その際に、身体部分慣性特性係数についても解説するとともに、体育総合実験棟において身体運動の計測方法、地面反力の計測方法についても実演を行う。さらに、得られたデータをもとに、動作の変動性係数や動作逸脱度を用いた身体運動を評価する方法を解説する。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP403	スポーツ用具と動きのしくみ	1	1.0	1・2	春AB	金2	体育・芸術エリア	小池 関也	スポーツ用具の性能向上のためのしくみについて紹介するとともに、パフォーマンス実現のための動きのしくみ(メカニズム)について解説する。用具として、各種打具、シューズ、各種ボール、水着などを例に挙げ、パフォーマンスに関係する各種特性について、物理的な現象面あるいは生体力学的な視点から解説する。つぎに、スポーツ動作の各種分析手法を紹介したのちに、これらの分析手法を活用して得た各種動作の分析結果から、スポーツ動作における動きのしくみについて解説し、パフォーマンスの発揮メカニズムについて紹介する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP404	女性スポーツ医学論特講	1	1.0	1	秋AB	水2	体育・芸術エリア	渡部 厚一,中尾 砂理	月経の調節機構と加齢による変化、妊娠による身体機能の変化と胎児の発育を学ぶ。激しいスポーツ活動に起因する月経異常の発現機転を理解する。また、妊婦のスポーツ活動が母体および胎児に及ぼす影響を理解する。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP405	機能解剖学実験	3	1.0	1・2	春C	集中	体育・芸術エリア	平田 浩祐	実験を通じて形態計測、神経筋機能の評価方法を学ぶ。	7/17,7/18,7/24,7/25 AT必修科目. 対面 学研災付帯賠償責任保険(またはこれに準ずる保険)に加入すること。 実験計測に適した服装で受講すること。 【時間】[各日]10:10 - 18:00 (2-6限)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP406	運動器のしくみと働き(応用編)	1	1.0	1・2	秋AB	火1	体育・芸術エリア	平田 浩祐	上肢の運動を上肢帯の運動、肩関節、肘関節、手関節における運動、さらに手部における運動に分け、それぞれの運動に関与する筋について、詳細を学習するとともに、これらの関節の詳細も学習する。下肢に関しても同様に、股関節、膝関節、足関節及び足部における運動に関与する筋の詳細を学習し、これらの関節の詳細も学習する。さらに、呼吸運動も含む体幹の運動についても、それに作用する筋について学習する。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP408	スポーツ医学基礎論実習II	3	2.0	1・2	通年	随時		竹村 雅裕,福田 崇	スポーツ傷害に関する基本的な身体特性の評価、受傷機転の解析、予防法について、実習を通して理解を深め、スポーツ医学に関する基本的能力を養う。この実習により、スポーツ医学(外科系)の基礎的な実験手法などを身につけることを目標とする。スポーツ傷害に関する基本的な身体の評価方法について学ぶことで、受講生がテーマを決定し、研究計画を立てることが出来るようにする。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP409	ヒトの身体と運動のダイナミクス	1	1.0	1・2	春AB	月4	体育・芸術エリア	佐渡 夏紀	ヒト身体は主に直立二足の移動様式に適応して形作られた。さらにヒト身体には可塑性が有り、日常の多寡に応じて適応する。競技者はトレーニングによって望ましい身体を形成しつつ身体的特徴を活かした動作様式により身体能力を最大化する。本講義では、身体の力学的特性に関するヒト一般の特徴やヒト内の個人差・可塑性と基礎的な身体運動の遂行機序の関連に関する知見を紹介・解説する。	オンライン(対面併用型) （オンライン（オンデマンド型)、対面併用。状況に応じて実施形態は臨機応変に対応する。）			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP422	スポーツ医学基礎論特講II	1	1.0	1・2	春C	月5,木1		向井 直樹,鎌田 浩史	運動による運動器の変化について、骨組織の形態、骨代謝と軟骨代謝の生化学マーカー、軟部組織の3回に分けて解説する。いずれも自身や研究室で実験した結果を基にしており、運動負荷による変化をどのように把握できるかに重点を置いた構成としている。	0ATP8K3と同一。 (2023年度まで開講) AT必修科目. オンライン(同時双方向型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	○
0ATP410	アスレティックコンディショニング論特講	1	2.0	1	秋AB	月5,6	体育・芸術エリア	竹村 雅裕,渡部 厚一,福田 崇	競技力向上を目的としたスポーツ傷害予防やコンディショニングの課題と方法論を多面的に解説する。	AT必修科目. 対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP411	アスレティックリハビリテーション論特講	1	2.0	1	春AB	月5,6	体育・芸術エリア	竹村 雅裕,福田 崇,奥脇 透,金森 章浩	スポーツ選手が傷害から復帰するために必要なリハビリテーションの基本を学習する。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP412	アスレティックトレーナー特講	1	1.0	1・2	春AB	随時	体育・芸術エリア	竹村 雅裕,福田 崇	アスレティックトレーナーの現状を把握し、現在まで発展してきた経緯と遺産を理解する。 歴史的背景からみたアスレティックトレーナー成り立ちや現代社会における特徴をまとめ、その将来を展望する能力を養う。	AT必修科目. 対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP413	テーピング・マッサージ実習	3	2.0	1・2	春B 春C	集中	体育・芸術エリア	竹村 雅裕,福田 崇	テーピング及びマッサージを実施する上での運動学的、解剖学的、生理学的な基礎知識や方法について解説しながら、実習を行う。実習はベーシックとアドバンストの2つに分かれて実施する。	6/14,7/14,7/15 AT必修科目. 対面 【時間】各日9:00-17:00 7/14、7/15は半袖・短パンを着用、大き目のバスタオル1枚持参すること。			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP415	アスレティックコンディショニング論演習	2	3.0	1・2	通年	随時		竹村 雅裕,福田 崇	競技力向上を目的としたコンディショニングやトレーニングを実践し、パフォーマンスに関わるスポーツ傷害予防やコンディショニングの方法についてグループで実習を行う。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP416	アスレティックリハビリテーション論演習	2	3.0	1・2	通年	随時		竹村 雅裕,福田 崇	スポーツ傷害からの早期復帰に必要な知識を駆使して、アスレティックリハビリテーションプログラムを作成できるようになる。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP417	アスレティックコンディショニング論実習	3	2.0	1・2	通年	応談		竹村 雅裕,福田 崇	アスレティックコンディショニング論特講・演習で身に着けた知識・手段・方法・技術を実践を通じて確認をする。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP418	アスレティックリハビリテーション論実習	3	2.0	1・2	通年	応談		竹村 雅裕,福田 崇	アスレティックリハビリテーション論特講・演習で身に着けた知識・技術・プロセスを実際に体験して学習する。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP419	アスレティックトレーナー演習	2	1.0	1・2	春B	集中	体育・芸術エリア	福田 崇,竹村 雅裕	アスレティックトレーナーの組織的将来展望についての知見を習得することを目的として、アスレティックトレーナーとしての役割、資質、養成、教育、競技力への貢献、社会的貢献に関する文献的検討を演習形式で行う。更に、アスレティックトレーナーのアマスポーツ(学校における授業や部活動、地域スポーツクラブなど)での役割、プロスポーツ(ナショナルレベル、インターナショナルレベル)での役割に関する文献的検討も行う。	6/21,6/22 AT必修科目. 対面 【時間】9:00-17:00 半袖・短パンを着用	△	授業担当教員の判断による	体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP204	スポーツカウンセリング論	1	1.0	1	秋AB	火3	体育・芸術エリア	雨宮 怜	カウンセリングの基本的な理論と技法を理解するとともに、スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の健康増進および競技や日常生活におけるパフォーマンスの向上を目的とした指導や援助の基本的技術を学ぶ。スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の問題の改善やパフォーマンス向上を目的とした心理的サポートとして、指導者や援助者に必要なカウンセリングの理論と方法を、健康心理学およびスポーツ心理学の最新の知見を踏まえて学ぶ。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP215	運動学習心理学	1	1.0	1	秋AB	月4	体育・芸術エリア	國部 雅大	人間の運動学習(Motor Learning)と運動制御(Motor Control)について、知覚-運動統合の過程を中心に学ぶ。	対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP301	体力学特講	1	1.0	1・2	春AB	金1	体育・芸術エリア	木塚 朝博,鍋倉 賢治,小野 誠司,榎本 靖士	体力・運動能力に関する様々な概念や構成要素を復習し、発達加齢段階や各種レベルに応じた測定法、最新の解析法を解説することを通して、運動遊び、エクササイズ、トレーニングなどが、健康体力や競技体力に及ぼす効果について学ぶ。	対面で実施したいが、状況によってはオンデマンドで実施する。 AT必修科目			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP302	スポーツ生理学特講	1	1.0	1	春AB	水2	体育・芸術エリア	武政 徹,西保 岳,藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環及び体温調節系の役割について理解するため、以下のキーワードに関連して解説する。 骨格筋系のキーワード:重村式トレーニング法、筋肥大、遺伝子ドーピング、サルコペニア、冬眠、レーシングパフォーマンスを上げる遺伝子、老化を遅らせる運動 呼吸循環系のキーワード:ガス交換、酸素摂取量、血管調節、発汗調節、高地トレーニング、暑熱順化、水分調節	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP303	スポーツ生化学特講	1	1.0	1	春AB	火1	体育・芸術エリア	岡本 正洋,松井 崇	スポーツ生化学に関する国内外の専門書、文献、研究論文等を講読し、スポーツ生化学の対象領域、基本概念、研究方法などを学習することによって研究に必要な基礎的能力を身に着ける。運動が身心に及ぼす影響とトレーニング効果に関してスポーツ生化学の立場から理解を深め、健康や運動パフォーマンスの維持・増進のメカニズムを理解する。演習の最後に受講生の発表会を行い、教員と受講生の間で討議を行う。参考図書:脳を鍛えるには運動しかない(NHK出版)、 からだの中からストレスをみる(学会出版センター)、 使えるスポーツサイエンス(講談社サイエンティ)	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP501	コーチングのバイオメカニクス	1	1.0	1	秋AB	月3	体育・芸術エリア	榎本 靖士	スポーツの技術やトレーニングを考えるための基礎となるバイオメカニクスの諸原則、動作の改善ループの考え方とその応用法、バイオメカニクスデータの解釈などについて解説し、これらの知識を動作の改善に活用するための基礎的能力を身につけることを学習目標とする。具体的には、スポーツ技術のバイオメカニクス的とらえ方、力学的エネルギー・効率・有効性指数の算出法の解説、選手の動きを評価・診断・改善するためのバイオメカニクス的知識の重要性の解説などを通して、客観的知識を基礎とするコーチングについて学習させる。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP502	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1	体育・芸術エリア	前村 公彦,谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、 課題解決法や手段の選択・創造法、 時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、 効果的なトレーニング実践法、 トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、 高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。 また、 トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	0AS0203と同一。(2023年度まで開講)AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP506	スポーツ運動学	1	1.0	1	春AB	木2	体育・芸術エリア	中村 剛	発生運動学としてのスポーツ運動学の学問成立の経緯、基本概念、運動の分析法を講義して、運動の実践現場および研究においてもつスポーツ運動学の意義、価値の理解を深める。具体的には、体育・スポーツ領域において使われている運動の概念についての整理、運動をゲシュタルト(運動ゲシュタルト)として認識することの重要性、現場において取り上げられる動きの質の問題、実際の動きを取り上げる際に重要になる生命的な時空間の問題、そして、「できる」ということを考える際に不可欠な身体知の問題、その「できる」を支える「動感」の問題、動きの意味と価値の問題、スポーツ運動学と現象学の関係、などについて講義する。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

系列科目(コーチング)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP501	コーチングのバイオメカニクス	1	1.0	1	秋AB	月3	体育・芸術エリア	榎本 靖士	スポーツの技術やトレーニングを考えるための基礎となるバイオメカニクスの諸原則、動作の改善ループの考え方とその応用法、バイオメカニクスデータの解釈などについて解説し、これらの知識を動作の改善に活用するための基礎的能力を身につけることを学習目標とする。具体的には、スポーツ技術のバイオメカニクス的とらえ方、力学的エネルギー・効率・有効性指数の算出法の解説、選手の動きを評価・診断・改善するためのバイオメカニクス的知識の重要性の解説などを通して、客観的知識を基礎とするコーチングについて学習させる。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP502	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1	体育・芸術エリア	前村 公彦,谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、 課題解決法や手段の選択・創造法、 時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、 効果的なトレーニング実践法、 トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、 高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。 また、 トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	0AS0203と同一。(2023年度まで開講)AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP504	身体技法論	1	1.0	1	秋AB	金4	第1多目的道場	吉田 美和子,本谷 聡	目標:気功、呼吸法、武術、整体法、体操、ボディワーク等の身体技法について理解し、それらと体育やスポーツとの関係や意味について、個々の身体技法として活用する方法を知る。 授業計画:東洋の身体知(embodied wisdom)に対し、西洋の身体知ともいうべきソマティクス(Somatics-身体を内側から捉える理論)の臨床的実践技法であるボディワークをテーマに、その理論的背景を学びながら、技術(art)の習得を図る。体験的解剖学に基盤づき、基本的な身体の構造や機能を学びながら、実際に動き(movement)、触れ(touch)、声を出し(vocalization)、身体の経験や気づきを言語化し(verbalization)討議を加える。前半は骨格系、後半は内臓を中心に取り上げる。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP505	身体表現論	1	1.0	1・2	春AB	火2	体育・芸術エリア	寺山 由美	<私>にとって身体とは何かを問うことを通して、「身体表現」について考察する。自らの「身体表現」と他者の「身体表現」の違いを捉え、私たちがどのようにコミュニケーションを成立させているのかを検討する。特に、ダンスの場面における事例を取り上げ、「身体表現」の特性について考える。また、身体の持つ力に着目し、「身体表現」という括りでダンスとスポーツを捉えることで、体育・スポーツ学を多角的に検討することを試みる。	対面 対面かオンライン(同時双方向型)かを受講者に連絡する。			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP506	スポーツ運動学	1	1.0	1	春AB	木2	体育・芸術エリア	中村 剛	発生運動学としてのスポーツ運動学の学問成立の経緯、基本概念、運動の分析法を講義して、運動の実践現場および研究においてもつスポーツ運動学の意義、価値の理解を深める。具体的には、体育・スポーツ領域において使われている運動の概念についての整理、運動をゲシュタルト(運動ゲシュタルト)として認識することの重要性、現場において取り上げられる動きの質の問題、実際の動きを取り上げる際に重要になる生命的な時空間の問題、そして、「できる」ということを考える際に不可欠な身体知の問題、その「できる」を支える「動感」の問題、動きの意味と価値の問題、スポーツ運動学と現象学の関係、などについて講義する。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP510	体操コーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	金3	体操場	長谷川 聖修,本谷 聡	体操領域の特性を理解するとともに、各種のねらいや対象に応じた徒手体操や手具体操の実践力と指導力を身に付ける。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP511	体操競技コーチング総合演習	2	1.0	1	秋AB	金3	体操競技場	金谷 麻理子	体操競技および器械運動に関する国内外の文献講読と実習を行い、それぞれの種目の基本技の技術と指導方法、安全に関する配慮などについて理解する。器械運動の内容に関しては、マット運動、とび箱運動、平均台運動、鉄棒運動の基本的な技を身に着けるとともに、効果的に指導する方法を学習する。また、体操競技の内容については、男子6種目(ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒)、女子4種目(ゆか、平均台、段違い平行棒、跳馬)のそれぞれについて種目特性を理解するとともに実習を通して基本技術と指導法を学習し、専門家として必要な資質を身に着ける。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP512	陸上競技コーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	金5	体育・芸術エリア	大山 圭悟,木越 清信	陸上競技の技術、トレーニング、指導法について、国内外の文献をもとにして、体育的側面及び競技的側面から有効なコーチングへの手がかりを検討する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP514	バレーボールコーチング総合演習	2	1.0	1	秋AB	木3	体育・芸術エリア	中西 康己,秋山 央	国内外の専門文献や研究書を講読し、バレーボールのルール、競技特性、発達史、基本的な技術と応用技術、基本的戦術とその発展、バレーボール競技者に必要な体力要素、競技力を向上させるための指導の方法などについて学習する。演習を通して、バレーボールのコーチとしての基礎的資質を高める。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP515	バスケットボールコーチング総合演習	2	1.0	1・2	春AB	木3	体育・芸術エリア	池田 英治	バスケットボールの複雑な競技特性に言及する国内外の専門文献や研究書の精読を通じて、コーチングの前提要件たる理論知の獲得を図る。併せて、実際のコーチング場面で直面する諸問題を解決するための方策について発表・討議することで、バスケットボール競技のコーチングに関わる基礎的な課題についての理解を深める。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP516	ハンドボールコーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	金4	体育・芸術エリア	會田 宏,藤本 元,山田 永子	ハンドボールのコーチング実践に必要な理論の学習とコーチング実践活動を通して、さまざまな問題に対処できる専門的な指導力を身につける。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP517	サッカーコーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	金4	体育・芸術エリア,第1サッカー場	中山 雅雄	演習形式でサッカーのコーチングに関わる理論の理解を深めると同時に、コーチングの実践を通してサッカーコーチとしての能力を高める。授業の前半は主に講義形式で「サッカーの構造」「プレーの原則」「タレント発掘」「サッカーのコーチング」等について整理する。その後、各自でコーチングプランを作成し、受講者間でそのプランを洗練する作業をおこなう。後半ではそのプランに基づきコーチング実践と省察によって自身のコーチング能力を改善する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP518	ラグビーコーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	木3		嶋﨑 達也	授業は演習形式とし、ラグビーコーチングの現場で直面する様々な問題に対して、その対処法や考え方について学び、各自の指導論・指導法を構築していくことを目的とする。授業の前半ではラグビーのコーチングに必要な理論(指導法、ゲーム分析の視点、パフォーマンス評価、スカウティングなど)を学習した後、後半から各自で設定したテーマに対するコーチングの実践活動を行い、コーチとしての指導力の向上を図るものとする。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP519	テニスコーチング総合演習	2	1.0	1	秋C	水1,2	体育・芸術エリア	三橋 大輔	国内外の専門文献や研究書を講読し、テニスのルール、競技特性、発達史、基本的な技術と応用技術、基本的戦術とその発展、バレーボール競技者に必要な体力要素、ストローク、ボレー、サービス動作の技術指導のやりかた、競技力を向上させるための指導の方法などについて学習する。演習を通して、テニスのコーチとしての基礎的資質を高める。	要相談			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP520	バドミントンコーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	火4		吹田 真士	国内外の専門文献や研究書を講読し、バドミントンのルール、競技特性、発達史、基本的な技術と応用技術、基本的戦術とその発展、バドミントン競技者に必要な体力要素、ストローク、ボレー、サービス動作の技術指導のやりかた、競技力を向上させるための指導の方法などについて学習する。演習を通して、バドミントンのコーチとしての基礎的資質を高める。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP521	野球コーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	火4	体育・芸術エリア	川村 卓,奈良 隆章	野球のコーチングに関して、チームのリクルート、マネジメントの仕方及び戦略、戦術、戦法、試合の進め方、投球および打撃動作の観察方法、さらには走塁および守備の考え方、改善方法、チーム練習方法、年代別の課題などに焦点を当て、新たな考え方に関して討論し、提案していくことで、野球の指導者としての資質を高める。	専門的な内容になるので,野球経験者に限る. 実施形態：要相談			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP522	柔道コーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	火4	柔道場	岡田 弘隆,増地 克之	柔道における技の分類について説明し、理解させる。投技(手技16本、腰技10本、足技21本、真捨身技5本、横捨身技16本)、固技(抑込技10本、絞技12本、関節技10本)全般について実習するとともに、併せてその指導法についても学び、実践する。柔道のすべての技についてその理合を説明し、それを理解させた上で実践させるとともに、効果的な指導法について、各自で考えさせた上で必要に応じて補足説明を行い、実践させる。それにより、柔道の指導者としての基礎的資質を高めることを目的とする。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP523	剣道コーチング総合演習	2	1.0	1	秋AB	金4	体育・芸術エリア	鍋山 隆弘,有田 祐二	剣道の試合・審判規則について学習し、審判の理論と実践能力を高める。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP524	弓道コーチング総合演習	2	1.0	1	秋AB	火3	弓道場	松尾 牧則	日本の伝統的運動文化としての「弓道」の特性を理解するとともに、弓道指導における基礎・基本となる「基本体(基本の姿勢・基本の動作)」「射法八節」についてその理論学習と実践を通じて弓道コーチングの実際を学習する。「基本の姿勢」「基本の動作」を合わせた「基本体」を正しく身につける。また、弓射の基本法則である「射法八節」の理論を理解し、正しく身につけ実践する。また初級者への示範・指導ができるようにする。対象に応じた指導法を理解し、安全かつ効果的に学習できる指導法を理解・習得する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP525	舞踊指導総合演習	2	1.0	1	秋AB	金4	ダンス場	寺山 由美	舞踊(ダンス)教育における内容の中でも表現・創作ダンス(モダンダンス)とリズム系ダンスを中心に、各々の特性と技法、指導法、上演に関する理解を深めるとともに、実習を通して基礎的、応用的な能力を養う。舞踊における身体、イメージ、リズム、動きの関係について、多様なテーマ(課題)から即興的に表現・創作するとともに、舞台に向けたダンス作品を創作、上演する。自らの踊る力を養成すると共に、どのように学習者の実態を捉えた指導法についても学んでいく。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP527	卓球コーチング総合演習	4	1.0	1	秋AB	火4	体育・芸術エリア	野中 由紀	卓球の特性とコーチングに関する文献資料および実習からコーチング実践力を学ぶ。	卓球経験者が望ましい。 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP142	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4	体育・芸術エリア	齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP541	舞踊上演マネジメント論	1	1.0	1	春AB	水2		平山 素子	舞踊公演やイベントの企画・運営を取り扱い、過去に行われた舞踊公演の例に、実情や問題点を検証する。また、現在、活発に行われている舞踊公演の仕組みや、様々な形態のイベントについて学ぶ。さらに、独自のイベントを企画・運営するための知識として、イベントに関わる経済的問題、様々な助成制度とその活用方法を学ぶ。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP110	フェアプレイ論	1	1.0	1・2	秋C	火5,6	体育・芸術エリア	深澤 浩洋	フェアネスの歴史的概観やフェアプレイを奨励する運動を踏まえ、フェアプレイが主張される意味について、複数の価値観、道徳観から考察する。また、フェアプレイを奨励する運動に言及する。実際にフェアプレイに徹するスポーツパーソンを育成するにはどうしたらよいのか、どのようにフェアプレイ教育を展開していけばよいのかということについて考察し、自分なりの見解を論理的に展開できることを目標とする。 フェアネスの概念、スポーツのルールとエトス、フェアプレイの歴史、フェアプレイをめぐる問題の語られ方(個人と組織)、アンフェアの背景、フェアプレイキャンペーン、フェアプレイ奨励の方策、フェアプレイ教育の構想	対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP302	スポーツ生理学特講	1	1.0	1	春AB	水2	体育・芸術エリア	武政 徹,西保岳,藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環及び体温調節系の役割について理解するため、以下のキーワードに関連して解説する。 骨格筋系のキーワード:重村式トレーニング法、筋肥大、遺伝子ドーピング、サルコペニア、冬眠、レーシングパフォーマンスを上げる遺伝子、老化を遅らせる運動 呼吸循環系のキーワード:ガス交換、酸素摂取量、血管調節、発汗調節、高地トレーニング、暑熱順化、水分調節	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP304	スポーツ栄養学特講	1	1.0	1・2	春AB	水1		麻見 直美,下山寛之	時代に即したスポーツ・運動栄養学への理解を深めるために、運動(身体活動)、トレーニング、スポーツに関連した栄養、食生活、食事摂取基準、酸化ストレス、抗酸化ビタミン、エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、タンパク代謝、骨(フィーメールアスリートトライアードを含む)、貧血、水分代謝、休養(睡眠・時差)などのトピックスを取りあげて、講義を行う。加えて、スポーツ栄養の今日的現場課題について問題理解と解決策検討について議論する。	オンライン(対面併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP401	運動器のしくみと働き(基礎編)	1	1.0	1・2	春AB	木4	体育・芸術エリア	平田 浩祐	運動器を構成する骨格、筋、神経系の概要を学ぶ。生物の形態は、その機能と深いかかわりを持っている。運動において関節の構造は大切であり、関節が運動を「制限」することによって目的とした運動が実現される。運動器にはさらに、腱、靭帯も重要な要素としてかかわっている。神経系は、これらの特性も考慮して筋に指令を出している。このようなことがらについて、詳細を解説していく。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP403	スポーツ用具と動きのしくみ	1	1.0	1・2	春AB	金2	体育・芸術エリア	小池 関也	スポーツ用具の性能向上のためのしくみについて紹介するとともに、パフォーマンス実現のための動きのしくみ(メカニズム)について解説する。用具として、各種打具、シューズ、各種ボール、水着などを例に挙げ、パフォーマンスに関係する各種特性について、物理的な現象面あるいは生体力学的な視点から解説する。つぎに、スポーツ動作の各種分析手法を紹介したのちに、これらの分析手法を活用して得た各種動作の分析結果から、スポーツ動作における動きのしくみについて解説し、パフォーマンスの発揮メカニズムについて紹介する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP410	アスレティックコンディショニング論特講	1	2.0	1	秋AB	月5,6	体育・芸術エリア	竹村 雅裕,渡部 厚一,福田 崇	競技力向上を目的としたスポーツ傷害予防やコンディショニングの課題と方法論を多面的に解説する。	AT必修科目. 対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

系列科目(ナショナルリーディングコーチ養成)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP501	コーチングのバイオメカニクス	1	1.0	1	秋AB	月3	体育・芸術エリア	榎本 靖士	スポーツの技術やトレーニングを考えるための基礎となるバイオメカニクスの諸原則、動作の改善ループの考え方とその応用法、バイオメカニクスデータの解釈などについて解説し、これらの知識を動作の改善に活用するための基礎的能力を身につけることを学習目標とする。具体的には、スポーツ技術のバイオメカニクス的とらえ方、力学的エネルギー・効率・有効性指数の算出法の解説、選手の動きを評価・診断・改善するためのバイオメカニクス的知識の重要性の解説などを通して、客観的知識を基礎とするコーチングについて学習させる。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP502	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1	体育・芸術エリア	前村 公彦,谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、 課題解決法や手段の選択・創造法、 時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、 効果的なトレーニング実践法、 トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、 高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。 また、 トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	0AS0203と同一。(2023年度まで開講)AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP504	身体技法論	1	1.0	1	秋AB	金4	第1多目的道場	吉田 美和子,本谷 聡	目標:気功、呼吸法、武術、整体法、体操、ボディワーク等の身体技法について理解し、それらと体育やスポーツとの関係や意味について、個々の身体技法として活用する方法を知る。 授業計画:東洋の身体知(embodied wisdom)に対し、西洋の身体知ともいうべきソマティクス(Somatics-身体を内側から捉える理論)の臨床的実践技法であるボディワークをテーマに、その理論的背景を学びながら、技術(art)の習得を図る。体験的解剖学に基盤づき、基本的な身体の構造や機能を学びながら、実際に動き(movement)、触れ(touch)、声を出し(vocalization)、身体の経験や気づきを言語化し(verbalization)討議を加える。前半は骨格系、後半は内臓を中心に取り上げる。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP505	身体表現論	1	1.0	1・2	春AB	火2	体育・芸術エリア	寺山 由美	<私>にとって身体とは何かを問うことを通して、「身体表現」について考察する。自らの「身体表現」と他者の「身体表現」の違いを捉え、私たちがどのようにコミュニケーションを成立させているのかを検討する。特に、ダンスの場面における事例を取り上げ、「身体表現」の特性について考える。また、身体の持つ力に着目し、「身体表現」という括りでダンスとスポーツを捉えることで、体育・スポーツ学を多角的に検討することを試みる。	対面 対面かオンライン(同時双方向型)かを受講者に連絡する。			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP506	スポーツ運動学	1	1.0	1	春AB	木2	体育・芸術エリア	中村 剛	発生運動学としてのスポーツ運動学の学問成立の経緯、基本概念、運動の分析法を講義して、運動の実践現場および研究においてもつスポーツ運動学の意義、価値の理解を深める。具体的には、体育・スポーツ領域において使われている運動の概念についての整理、運動をゲシュタルト(運動ゲシュタルト)として認識することの重要性、現場において取り上げられる動きの質の問題、実際の動きを取り上げる際に重要になる生命的な時空間の問題、そして、「できる」ということを考える際に不可欠な身体知の問題、その「できる」を支える「動感」の問題、動きの意味と価値の問題、スポーツ運動学と現象学の関係、などについて講義する。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP510	体操コーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	金3	体操場	長谷川 聖修,本谷 聡	体操領域の特性を理解するとともに、各種のねらいや対象に応じた徒手体操や手具体操の実践力と指導力を身に付ける。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP511	体操競技コーチング総合演習	2	1.0	1	秋AB	金3	体操競技場	金谷 麻理子	体操競技および器械運動に関する国内外の文献講読と実習を行い、それぞれの種目の基本技の技術と指導方法、安全に関する配慮などについて理解する。器械運動の内容に関しては、マット運動、とび箱運動、平均台運動、鉄棒運動の基本的な技を身に着けるとともに、効果的に指導する方法を学習する。また、体操競技の内容については、男子6種目(ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒)、女子4種目(ゆか、平均台、段違い平行棒、跳馬)のそれぞれについて種目特性を理解するとともに実習を通して基本技術と指導法を学習し、専門家として必要な資質を身に着ける。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP512	陸上競技コーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	金5	体育・芸術エリア	大山 圭悟,木越 清信	陸上競技の技術、トレーニング、指導法について、国内外の文献をもとにして、体育的側面及び競技的側面から有効なコーチングへの手がかりを検討する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP514	バレーボールコーチング総合演習	2	1.0	1	秋AB	木3	体育・芸術エリア	中西 康己,秋山 央	国内外の専門文献や研究書を講読し、バレーボールのルール、競技特性、発達史、基本的な技術と応用技術、基本的戦術とその発展、バレーボール競技者に必要な体力要素、競技力を向上させるための指導の方法などについて学習する。演習を通して、バレーボールのコーチとしての基礎的資質を高める。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP515	バスケットボールコーチング総合演習	2	1.0	1・2	春AB	木3	体育・芸術エリア	池田 英治	バスケットボールの複雑な競技特性に言及する国内外の専門文献や研究書の精読を通じて、コーチングの前提要件たる理論知の獲得を図る。併せて、実際のコーチング場面で直面する諸問題を解決するための方策について発表・討議することで、バスケットボール競技のコーチングに関わる基礎的な課題についての理解を深める。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP516	ハンドボールコーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	金4	体育・芸術エリア	會田 宏,藤本 元,山田 永子	ハンドボールのコーチング実践に必要な理論の学習とコーチング実践活動を通して、さまざまな問題に対処できる専門的な指導力を身につける。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP517	サッカーコーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	金4	体育・芸術エリア,第1サッカー場	中山 雅雄	演習形式でサッカーのコーチングに関わる理論の理解を深めると同時に、コーチングの実践を通してサッカーコーチとしての能力を高める。授業の前半は主に講義形式で「サッカーの構造」「プレーの原則」「タレント発掘」「サッカーのコーチング」等について整理する。その後、各自でコーチングプランを作成し、受講者間でそのプランを洗練する作業をおこなう。後半ではそのプランに基づきコーチング実践と省察によって自身のコーチング能力を改善する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP518	ラグビーコーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	木3		嶋崎 達也	授業は演習形式とし、ラグビーコーチングの現場で直面する様々な問題に対して、その対処法や考え方について学び、各自の指導論・指導法を構築していくことを目的とする。授業の前半ではラグビーのコーチングに必要な理論(指導法、ゲーム分析の視点、パフォーマンス評価、スカウティングなど)を学習した後、後半から各自で設定したテーマに対するコーチングの実践活動を行い、コーチとしての指導力の向上を図るものとする。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP519	テニスコーチング総合演習	2	1.0	1	秋C	水1,2	体育・芸術エリア	三橋 大輔	国内外の専門文献や研究書を講読し、テニスのルール、競技特性、発達史、基本的な技術と応用技術、基本的戦術とその発展、バレーボール競技者に必要な体力要素、ストローク、ボレー、サービス動作の技術指導のやりかた、競技力を向上させるための指導の方法などについて学習する。演習を通して、テニスのコーチとしての基礎的資質を高める。	要相談			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP520	バドミントンコーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	火4		吹田 真士	国内外の専門文献や研究書を講読し、バドミントンのルール、競技特性、発達史、基本的な技術と応用技術、基本的戦術とその発展、バドミントン競技者に必要な体力要素、ストローク、ボレー、サービス動作の技術指導のやりかた、競技力を向上させるための指導の方法などについて学習する。演習を通して、バドミントンのコーチとしての基礎的資質を高める。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP521	野球コーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	火4	体育・芸術エリア	川村 卓,奈良 隆章	野球のコーチングに関して、チームのリクルート、マネジメントの仕方及び戦略、戦術、戦法、試合の進め方、投球および打撃動作の観察方法、さらには走塁および守備の考え方、改善方法、チーム練習方法、年代別の課題などに焦点を当て、新たな考え方に関して討論し、提案していくことで、野球の指導者としての資質を高める。	専門的な内容になるので,野球経験者に限る. 実施形態：要相談			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP522	柔道コーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	火4	柔道場	岡田 弘隆,増地 克之	柔道における技の分類について説明し、理解させる。投技(手技16本、腰技10本、足技21本、真捨身技5本、横捨身技16本)、固技(抑込技10本、絞技12本、関節技10本)全般について実習するとともに、併せてその指導法についても学び、実践する。柔道のすべての技についてその理合を説明し、それを理解させた上で実践させるとともに、効果的な指導法について、各自で考えさせた上で必要に応じて補足説明を行い、実践させる。それにより、柔道の指導者としての基礎的資質を高めることを目的とする。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP523	剣道コーチング総合演習	2	1.0	1	秋AB	金4	体育・芸術エリア	鍋山 隆弘,有田 祐二	剣道の試合・審判規則について学習し、審判の理論と実践能力を高める。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP524	弓道コーチング総合演習	2	1.0	1	秋AB	火3	弓道場	松尾 牧則	日本の伝統的運動文化としての「弓道」の特性を理解するとともに、弓道指導における基礎・基本となる「基本体(基本の姿勢・基本の動作)」「射法八節」についてその理論学習と実践を通じて弓道コーチングの実際を学習する。 「基本の姿勢」「基本の動作」を合わせた「基本体」を正しく身につける。また、弓射の基本法則である「射法八節」の理論を理解し、正しく身につけ実践する。また初級者への示範・指導ができるようにする。対象に応じた指導法を理解し、安全かつ効果的に学習できる指導法を理解・習得する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP525	舞踊指導総合演習	2	1.0	1	秋AB	金4	ダンス場	寺山 由美	舞踊(ダンス)教育における内容の中でも表現・創作ダンス(モダンダンス)とリズム系ダンスを中心に、各々の特性と技法、指導法、上演に関する理解を深めるとともに、実習を通して基礎的、応用的な能力を養う。舞踊における身体、イメージ、リズム、動きの関係について、多様なテーマ(課題)から即興的に表現・創作するとともに、舞台に向けたダンス作品を創作、上演する。自らの踊る力を養成すると共に、どのように学習者の実態を捉えた指導法についても学んでいく。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP527	卓球コーチング総合演習	4	1.0	1	秋AB	火4	体育・芸術エリア	野中 由紀	卓球の特性とコーチングに関する文献資料および実習からコーチング実践力を学ぶ。	卓球経験者が望ましい。 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP142	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4	体育・芸術エリア	齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP541	舞踊上演マネジメント論	1	1.0	1	春AB	水2		平山 素子	舞踊公演やイベントの企画・運営を取り扱い、過去に行われた舞踊公演の例に、実情や問題点を検証する。また、現在、活発に行われている舞踊公演の仕組みや、様々な形態のイベントについて学ぶ。さらに、独自のイベントを企画・運営するための知識として、イベントに関わる経済的問題、様々な助成制度とその活用方法を学ぶ。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATP110	フェアプレイ論	1	1.0	1・2	秋C	火5,6	体育・芸術エリア	深澤 浩洋	フェアネスの歴史的概観やフェアプレイを奨励する運動を踏まえ、フェアプレイが主張される意味について、複数の価値観、道徳観から考察する。また、フェアプレイを奨励する運動に言及する。実際にフェアプレイに徹するスポーツパーソンを育成するにはどうしたらよいのか、どのようにフェアプレイ教育を展開していけばよいのかということについて考察し、自分なりの見解を論理的に展開できることを目標とする。 フェアネスの概念、スポーツのルールとエトス、フェアプレイの歴史、フェアプレイをめぐる問題の語られ方(個人と組織)、アンフェアの背景、フェアプレイキャンペーン、フェアプレイ奨励の方策、フェアプレイ教育の構想	対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP302	スポーツ生理学特講	1	1.0	1	春AB	水2	体育・芸術エリア	武政 徹,西保岳,藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環及び体温調節系の役割について理解するため、以下のキーワードに関連して解説する。 骨格筋系のキーワード:重村式トレーニング法、筋肥大、遺伝子ドーピング、サルコペニア、冬眠、レーシングパフォーマンスを上げる遺伝子、老化を遅らせる運動 呼吸循環系のキーワード:ガス交換、酸素摂取量、血管調節、発汗調節、高地トレーニング、暑熱順化、水分調節	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP304	スポーツ栄養学特講	1	1.0	1・2	春AB	水1		麻見 直美,下山寛之	時代に即したスポーツ・運動栄養学への理解を深めるために、運動(身体活動)、トレーニング、スポーツに関連した栄養、食生活、食事摂取基準、酸化ストレス、抗酸化ビタミン、エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、タンパク代謝、骨(フィーメールアスリートトライアードを含む)、貧血、水分代謝、休養(睡眠・時差)などのトピックスを取りあげて、講義を行う。加えて、スポーツ栄養の今日的現場課題について問題理解と解決策検討について議論する。	オンライン(対面併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP401	運動器のしくみと働き(基礎編)	1	1.0	1・2	春AB	木4	体育・芸術エリア	平田 浩祐	運動器を構成する骨格、筋、神経系の概要を学ぶ。生物の形態は、その機能と深いかかわりを持っている。運動において関節の構造は大切であり、関節が運動を「制限」することによって目的とした運動が実現される。運動器にはさらに、腱、靭帯も重要な要素としてかかわっている。神経系は、これらの特性も考慮して筋に指令を出している。このようなことがらについて、詳細を解説していく。	AT必修科目. 対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP403	スポーツ用具と動きのしくみ	1	1.0	1・2	春AB	金2	体育・芸術エリア	小池 関也	スポーツ用具の性能向上のためのしくみについて紹介するとともに、パフォーマンス実現のための動きのしくみ(メカニズム)について解説する。用具として、各種打具、シューズ、各種ボール、水着などを例に挙げ、パフォーマンスに関係する各種特性について、物理的な現象面あるいは生体力学的な視点から解説する。つぎに、スポーツ動作の各種分析手法を紹介したのちに、これらの分析手法を活用して得た各種動作の分析結果から、スポーツ動作における動きのしくみについて解説し、パフォーマンスの発揮メカニズムについて紹介する。	対面			体育学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATP410	アスレティックコンディショニング論特講	1	2.0	1	秋AB	月5,6	体育・芸術エリア	竹村 雅裕,渡部厚一,福田 崇	競技力向上を目的としたスポーツ傷害予防やコンディショニングの課題と方法論を多面的に解説する。	AT必修科目. 対面(オンライン併用型)			体育学学位プログラム(博士前期課程)	

ニューロサイエンス学位プログラム(博士前期課程)

専門基礎科目(ニューロサイエンス学位プログラム:博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATF201	神経科学基礎論A	1	2.0	1	春A	応談		岩田 卓,山田 一夫,武井 陽介,本城 咲季子,鶴田 文憲,櫻井 勝康,大石 陽,齊藤 夕貴	指定の教科書に沿って、分子・細胞神経科学領域の基礎的内容についての講義をオムニバス方式で行う。4回の講義が終了するごとに、その内容についての疑問点や、関連文献の学習などからなる、MidtermおよびFinalのReview/Discussionを担当教員及びTFが主導して行い、分子・細胞神経科学の基礎知識の十分な習得を促す。	ニューロサイエンス学位プログラム必修科目 対面			ニューロサイエンス学位プログラム(博士前期課程)	
0ATF202	神経科学基礎論B	1	2.0	1	春A	応談		綾部 早穂,山田 洋,國松 淳,小金澤 禎史,LAZARUS MICHAEL,平野 有沙,櫻井 武,山本 慎也	指定の教科書に沿って、システム神経科学領域の基礎的内容についての講義をオムニバス方式で行う。4回の講義が終了するごとに、その内容についての疑問点や、関連文献の学習などからなる、MidtermおよびFinalのReview/Discussionを担当教員及びTFが主導して行い、システム神経科学の基礎知識の十分な習得を促す。	ニューロサイエンス学位プログラム必修科目 対面			ニューロサイエンス学位プログラム(博士前期課程)	
0ATF203	神経科学基礎論C	1	2.0	1	春B	応談		佐々木 哲也,阿部 高志,高橋 阿貴,坂口 昌徳,武田 裕司,仲田 真理子,片平 健太郎,森川 桃	指定の教科書に沿って、行動・認知神経科学領域の基礎的内容についての講義をオムニバス方式で行う。4回の講義が終了するごとに、その内容についての疑問点や、関連文献の学習などからなる、MidtermおよびFinalのReview/Discussionを担当教員及びTFが主導して行い、行動・認知神経科学の基礎知識の十分な習得を促す。	ニューロサイエンス学位プログラム必修科目 対面			ニューロサイエンス学位プログラム(博士前期課程)	
0ATF204	神経科学基礎論D	1	2.0	1	春B	応談		太田 深秀,新井 哲明,山中 克夫,岡崎 慎治,根本 清貴,岩木 直,三盃 亜美,櫻井 勝康,バスクアロット アキッレ	障害・臨床・支援の神経科学の領域の基礎的内容についての講義をオムニバス方式で行う。精神疾患や神経変性疾患といった臨床症状や発達障害などの障害および支援、高次脳機能について学び、障害・臨床・支援の神経科学の基礎知識の十分な習得を促す。	ニューロサイエンス学位プログラム必修科目 対面			ニューロサイエンス学位プログラム(博士前期課程)	

スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)

スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATQ004	Anti-Doping (アンチ・ドーピング)	1	1.0	1	秋B	集中		渡部 厚一	スポーツ界におけるドーピングの歴史と規程や国際基準からなる世界アンチ・ドーピング機構によるアンチ・ドーピングプログラムの概要、日本で展開されているアンチ・ドーピングの全体像を紹介する。また、各国が行っているアンチ・ドーピングプログラムや近年生じているドーピング問題を題材として、スポーツのインテグリティやフェアネスに対する考え方を理解したうえで、国際比較などからアンチ・ドーピングプログラムが抱える課題やあるべき未来像を考察する。	英語で授業。 11/19 対面(オンライン併用型) Detailes will be announced by the instructor	△	授業担当教員の判断による	スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATQ006	Sport and Diversity (スポーツとダイバーシティー)	1	1.0	1	春B	集中		清水 諭,佐藤 貴弘	スポーツにおけるダイバーシティ(多様性)に関わるこれまでの課題について取り上げ、今後の共生社会のあり方をスポーツを基軸に考えていく。具体的には、スポーツとジェンダーの問題、つまり女性のスポーツへの参加、スポーツ組織における主導的な立場についてやLGBTとスポーツについて学ぶ。また、障害者のスポーツについて学習し、理解を深める。具体的にはパラリンピックやパラリンピック以外の世界大会、また、障害(身体障害、知的障害、精神障害)の特性について、講義内で議論が可能と思われる事例を提示しながら学ぶ。	英語で授業。 6/5, 6, 19 対面(オンライン併用型) FY2025, held over three days in May and June	△	授業担当教員の判断による	スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATQ009	Cross-Cultural Communication (異文化コミュニケーション)	1	1.0	1	秋AB	金5		ラクワール ランディープ	In this course, students will learn the basics of cross-cultural communication in respect to the globalized university, and the future working environment they will face. Irrespective of your backgrounds, past affiliations and disciplines, the need will be to have good communication with people having diverse perspectives and personalities, and which is key for building relationships and success, and future careers. In other words, to be able to develop an 'international mindset'. Expert Guest Speakers as expert communicators from a highly diverse career path and with substantial practical backgrounds and experience (across countries) will be providing highly interactive workshops. 5th Cross Cultural-Communication Batch students (Oct. 2025 enroll): Register Fall AB	英語で授業。 対面 GSI302			スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATQ010	Research Project Management (研究プロジェクトマネジメント)	1	2.0	1	秋AB	金1,2		ラクワール ランディープ	このコースでは、プロジェクトの目的と目標に沿って、研究プロジェクトの管理、計画立案、概要構築を中心に学習する。このコースは、スポーツとオリンピック研究のためのMAプログラムに記されている学術目標と結びついており、研究プロジェクトの準備、管理さらにはプロジェクト成功を実現するように導くことを目的とする。	英語で授業。 対面			スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATQ209	Olympism and Legacy (オリンピズムとレガシー)	1	1.0	1	秋AB	木3		深澤 浩洋	オリンピズムとオリンピック・レガシーについて、それらの意義を学ぶとともに、今後の国や地域等に応じたレガシーのあり方を考え、これからのオリンピック・レガシーについて構想することを通じてオリンピズムを反映したレガシーに対する洞察力を持つことを目指す。 オリンピズムの要諦を確認したのち、オリンピック・レガシーが言及されるようになった契機やそれの具体的な導入の経緯等を講ずる。それらを踏まえて、スポーツメガイベントの実際を調査し、レガシーの理念を反映したアクションを構想し、プレゼンテーションを行う。	英語で授業。 対面			スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATQ215	Elite Sport Coaching (エリートスポーツコーチング論)	1	1.0	1	秋AB	集中		仙石 泰雄	一流競技者のパフォーマンス向上に関するコーチング、トレーニング理論及び方法を学び実践する。特に、高強度トレーニング、ファンクショナルトレーニングの処方に焦点をあて、様々な最新トレーニング用具を活用する方法について学習し、特定の運動種目を対象としたトレーニングプログラムを作成する。	英語で授業。 12/4-5 対面 GSI302			スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)	

芸術学学位プログラム(博士前期課程)

基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATT021	日本美術史	1	1.0	1・2	春AB	水2	体育・芸術エリア	水野 裕史	日本美術を編年的に理解するため、代表的作例を鑑賞し、各時代の代表作を取り上げ、講述し、作品の生まれた時代背景等、多面的に考察する。	西暦奇数年度開講。 対面			芸術学学位プログラム(博士前期課程)	

デザイン学学位プログラム(博士前期課程)

基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
OATU001	デザイン学基礎論	1	2.0	1	春AB	金1,2	体育・芸術エリア	索米亜　,山田協太,小山 慎一,花里 俊廣,星野 准一,山本 早里,内山 俊朗,山田 博之,大友 邦子,加藤 研,岩木 直,伊藤 節,布田 健,平光 厚雄,木原 健,近井 学,岩田 祐佳梨,中島 昌一	デザインはプロダクト、エンタテインメント、建築、空間、経験など、人間が関わるすべての対象を人のために設計するための枠組みである。本講義では、こうしたデザインの現状、方法、思想、歴史などについて概説し、デザイン学の基礎を学ぶ。	対面(オンライン併用型)			デザイン学学位プログラム(博士前期課程)	

世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)

選択科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATV101	文化遺産論	1	1.0	1・2	秋AB	木2	第一エリア	下田 一太	文化遺産の保護について、遺産の概念、保護の理念、日本及び諸外国の保護制度の概要、さらにそれらの現在に至る歴史的経緯の理解を通して、現代社会における役割、その現状と今後について考察する。履修する大学院生は、文化遺産保護の理念と制度を理解するだけではなく、現代社会における文化財保護についてのディスカッションに参加し、意見を述べることができるようになることが求められる。	対面			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATV103	自然遺産論	1	1.0	1・2	春B	集中	第一エリア	飯田 義彦,吉田正人,三ツ井 聡美	自然遺産保全の基礎となる自然保護、生物多様性保全を学ぶとともに、自然遺産と関連する保護地域制度と自然遺産との関連性について考究する。とりわけ、世界自然遺産の登録基準、世界自然遺産のセイフティーネットとしての危機遺産リスト、外来種や気候変動のモニタリング、保護地域のネットワークと国境を超えた世界遺産などの事例を考察する。	非常勤講師：吉田正人 5/24-5/25			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATV106	無形遺産論	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中	第一エリア	池田 真利子,飯田 卓	UNESCO無形文化遺産保護条約の概念，体制やその変遷，また国内外の無形文化遺産の事例に関する実践的・学術的知識の習得を通して，無形遺産への理解を深化させ，無形遺産が持つ文化的価値について考究する。奇数年度である2025年度は，飯田卓先生（国立民族学博物館・文化人類学）を講師としてお招きし，集中講義を実施する予定である。	日本語運用能力があることが望ましい。 非常勤講師：飯田卓 9/24-9/25 含野外調査，実務経験教員，対面 2025年度は対面講義を予定する。			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATV204	World Heritage and Civil Participation（世界遺産と市民参加）	1	1.0	1・2	春AB	木3	第一エリア	池田 真利子	本講義では、1) 現在の世界遺産が直面する課題を的確に知り、2) その背景にある地域の実情を多角的かつ分野横断的にみること、さらに3) 世界遺産の維持のために必要不可欠とされている市民参加の在り方を、世界遺産に限定せず、広くヨーロッパの遺産保存の在り方から探ること、4世界遺産の多様化、5EUにおける最新の文化遺産を巡る動向を理解することを通じて、世界遺産における市民参加がどのようにして実現され得るのかを考えることを目標とする。JASSO応募に際しての必須科目に設定。	英語運用能力が求められる。（日本語話者向け） 対面，オンライン(同時双方向型) 2025年度は対面講義（教室で国内外の大学とオンラインで接続する可能性はある）を予定する。	△	履修許可者のみ	世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATV301	建築遺産論	1	1.0	1・2	春AB	木2	第一エリア	下田 一太	多様な歴史的背景や環境条件、意匠的特徴や利用可能な材料の特性に根差した建築遺産の理解、分析、調査、記述の方法と視覚化、評価の方法を学び、そうした歴史的建造物の意義や価値を保存・継承するための修理や復元の理念と技術、それらを伝達するための整備や再生の幅広い手法や技術について、国内外の世界文化遺産を含む建築遺産を事例として理解する。授業を通じて、各自が関心を有する建築遺産に対して、必要とされる調査を実践的に適用するための知識を習得し、保存や活用のための具体的な提案ができるようになることを到達目標とする。	対面			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATV303	美術遺産論I	1	1.0	1・2	春AB	火3	第一エリア	八木 春生	講義形式(学内)。中国で世界遺産に認定された雲岡石窟や龍門石窟を対象とする。この授業では、その中でも北魏時代(439年から534年)に開かれた石窟を取り上げる。窟形式や造像の様式、形式、また文様などの要素を様々な角度から分析し、それを総合的に考察することで評価を行う。それぞれの石窟がいかなる目的のために、またいかなる人々のために開かれたか、そのためにいかなる工夫がなされたかを明らかにする。そしてこの作業から抽出される、それぞれの石窟の特殊性に基づき、それに適した石窟の保存を考える能力を養成する。これにより、中国北魏時代の代表的な石窟に関する基礎的な知識を有し、その評価を基盤として活用など保護の方法を自らの研究と関連してできるようになる。	対面			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATV304	美術遺産論II	1	1.0	1・2	秋AB	火3	第一エリア	八木 春生	講義形式(学内)。中国で世界遺産に認定された敦煌莫高窟、龍門石窟などの、唐時代前期(618年から655年)に開かれた石窟を取り上げる。窟形式や造像の様式、形式、また文様などの要素を様々な角度から分析し、それを総合的に考察することで、これらの石窟の評価を行う。敦煌莫高窟唐前期諸窟や、龍門石窟唐前期諸窟のほとんどは、北魏時代に国家により開かれた雲岡石窟と異なり、民間による造営である。浄土教が流行したこの時期に、人々がいかなる目的を持って造営し、またそれらの人々の要求を満足させるためにどのような工夫がなされたかを考察する。そしてこの作業から抽出される、それぞれの石窟の特殊性に基づき、それに適した石窟の保存を考える能力を養成する。これにより、唐時代前期の代表的な石窟に関する基礎的な知識を有し、その評価を基盤として活用など保護の方法を自らの研究と関連してできるようになる。	美術遺産論Iを履修した者に限る 対面			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATV306	保存科学概論	1	1.0	1・2	春C	木4,5	第一エリア	松井 敏也	保存科学の沿革・保存科学技術のあり方・研究方法を論じ、保存修復事例をもとに文化財を取り巻く保存環境・劣化現象の解明、その保存対策の手法について解説する。それにより、遺産や美術品の劣化や損傷し対し、その診断手法の確立、ならびに診断結果に対する総合的評価を立地環境と担当者らのスキルなどと併せて考慮する視野を構築することを目指す。実践的処置技術については今後の社会及び環境変動を見据えた課題の抽出とその解決法を科学的に行う能力を習得する。	対面			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0ATV401	遺産整備計画論	1	1.0	1・2	春A	月4,5	第一エリア	上北 恭史	遺産の歴史的価値を評価し、遺産の保存手法、環境整備等について論じ、社会的保護制度や遺跡、建造物の保存手法、地域再生事業などの活用計画について考究する。教育の目標として、文化遺産を中心に、保護制度と遺産価値の理解を通して適切な保護の方法と利活用の手法について計画し、事業を遂行するための基本的考え方を学ぶ。授業の到達目標として、遺産保護制度の法令の理解および保護計画事例を把握し、遺産の持つ歴史的・社会的価値を評価する能力、需要に適した活用方法の提案ができる能力を身につける。また遺産の復元の問題や国際協力事例について事例を基に議論し、遺産を活かした地域再生について対応できる人材の育成を重視する。	対面			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATV403	文化的景観論	1	1.0	1・2	春AB	火4	第一エリア	黒田 乃生	遺産としては比較的新しい概念である文化的景観について、景観の概念の変遷、世界遺産における文化的景観をめぐる議論と現状、日本の文化財における文化的景観の定義と保護、景観と社会の関係などの基礎的な知識の習得に加え文化的景観の評価および保全に関する事例を紹介する。講義全体を通じて他の文化遺産と文化的景観の特徴の異同を考究するための緒を与える。保全や概念について、履修生とのディスカッションを通じて文化的景観の曖昧さや保護の課題について自ら考えることができるようにする。	対面			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)	
0ATV404	遺産観光論	1	1.0	1・2	秋AB	月4	第一エリア	伊藤 弘	観光に関する用語や意義、歴史的かつ現状の課題および計画論等に関して概説を行うと同時に、観光の対象となる文化資源や自然環境について、世界遺産や指定文化財、自然公園など制度上の評価に捉われない評価の考え方を整理する。利用と保護が持続的に同時に求められる、自然および文化を活かし続ける観光のあり方や取り組み手法、それに基づく観光地整備の考え方について、具体の事例を取り上げながら、その効果と課題を踏まえて考察する。	対面			世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)	

ヒューマン・ケア科学学位プログラム(3年制博士課程)

専門基礎科目(ヒューマン・ケア科学学位プログラム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0BTJ001	ヒューマン・ケア科学特論I	1	1.0	1・2	春A	集中		水野 雅之,杉江 征,松田 侑子	対人援助にかかわる諸問題を，さまざまな学問分野から交叉的かつ体系的に把握し，基礎的な知識および研究方法を学ぶ．すなわち，対人援助の基本として対象の対人的理解，援助方法の策定と介入，そして対象の置かれている状況の社会的制度的理解と援助について，発達臨床心理学，臨床心理学の分野から論じるとともに，研究法を概説する	4/26, 4/27 オンライン(オンデマンド型) 必修．原則としてオンライン（オンデマンド型）で実施する．各担当教員により，実施形態は対面やオンライン（オンデマンド型），オンライン（同時双方型）等となる場合もある．詳細はManaba等で事前に周知する．令和元年度までの「02EU004 ヒューマン・ケア科学方法論I」に対応する			ヒューマン・ケア科学学位プログラム(3年制博士課程)	○
0BTJ002	ヒューマン・ケア科学特論II	1	1.0	1・2	春C秋A	集中		濱口 佳和,森田 展彰,大谷 保和	対人援助にかかわる諸問題を，さまざまな学問分野から交叉的かつ体系的に把握し，基礎的な知識および研究方法を学ぶ．すなわち，対人援助の基本として対象の対人的理解，援助方法の策定と介入，そして対象の置かれている状況の社会的制度的理解と援助について，社会精神保健学，発達臨床心理学の分野から論じるとともに，研究法を解説する	7/12, 7/13,11/5 オンライン(オンデマンド型) 必修．原則としてオンライン（オンデマンド型）で実施する．各担当教員により，実施形態は対面やオンライン（オンデマンド型），オンライン（同時双方型）等となる場合もある．詳細はManaba等で事前に周知する．11/5はFD講演会・博士論文中間審査会．令和元年度までの「02EU001 ヒューマン・ケア科学基礎論I」に対応する			ヒューマン・ケア科学学位プログラム(4年制博士課程)	○
0BTJ003	ヒューマン・ケア科学特論III	1	1.0	1・2	秋AC	集中		橋爪 祐美,河野 禎之,糸井 千尋	対人援助にかかわる諸問題を，さまざまな学問分野から交叉的かつ体系的に把握し，基礎的な知識および研究方法を学ぶ．すなわち，対人援助の基本として対象の対人的理解，援助方法の策定と介入，そして対象の置かれている状況の社会的制度的理解と援助について，高齢者ケアリング学，共生教育学，臨床心理学の分野から論じるとともに，研究法を解説する	11/8, 11/9,2/14 オンライン(オンデマンド型)．オンライン(同時双方向型) 必修．原則としてオンライン（オンデマンド型）で実施する．各担当教員により，実施形態は対面やオンライン（オンデマンド型），オンライン（同時双方型）等となる場合もある．詳細はManaba等で事前に周知する．2/14はFD講演会・博士論文成果発表会．令和元年度までの「02EU005 ヒューマン・ケア科学方法論II」に対応する			ヒューマン・ケア科学学位プログラム(5年制博士課程)	○

パブリックヘルス学位プログラム(3年制博士課程)

専門基礎科目(パブリックヘルス学位プログラム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
0BTK001	パブリックヘルス特論I	1	1.0	1・2	春B	集中		市川 政雄,近藤 正英,堀 愛,冨尾 淳,大久保 麗子,川戸 美由紀	公衆衛生学は学際的な領域であるため，健康問題の要因とその解決・支援方法，それに係る社会的制度等について，基本分野に加えてさまざまな関連分野から，基礎的知識と研究方法を習得する必要がある．そこで本科目では，公衆衛生の基本分野と関連分野から，国際保健学，健康危機管理学，保健医療政策学について論じるとともに研究法を解説する	5/31，6/1 オンライン(オンデマンド型) 必修．原則としてオンライン（オンデマンド型）で実施する．各担当教員により，実施形態は対面やオンライン（オンデマンド型），オンライン（同時双方型）等となる場合もある．詳細はManaba等で事前に周知する．令和元年度までの「02EU006 ヒューマン・ケア科学方法論III」に対応する			パブリックヘルス学位プログラム(3年制博士課程)	○
0BTK002	パブリックヘルス特論II	1	1.0	1・2	夏季休業中 秋A	集中		武田 文,大藏 倫博,麻見 直美,中田 由夫,片岡 千恵,伊藤 智子,門間 貴史,辻 大士	公衆衛生学は学際的な領域であるため，健康問題の要因とその解決・支援方法，それに係る社会的制度等について，基本分野に加えてさまざまな関連分野から，基礎的知識と研究方法を習得する必要がある．そこで本科目では，公衆衛生の基本分野と関連分野から，健康社会学，運動・栄養学について論じるとともに研究法を解説する	9/27，9/28,11/5 オンライン(オンデマンド型) 必修．原則としてオンライン（オンデマンド型）で実施する．各担当教員により，実施形態は対面やオンライン（オンデマンド型），オンライン（同時双方型）等となる場合もある．詳細はManaba等で事前に周知する．11/5はFD講演会・博士論文中間審査会．令和元年度までの「02EU002 ヒューマン・ケア科学基礎論II」に対応する			パブリックヘルス学位プログラム(4年制博士課程)	○
0BTK003	パブリックヘルス特論III	1	1.0	1・2	秋BC	集中		渡邊 多永子,田宮 菜奈子,牛山 明,杉山 雄大,岩上 将夫,吉田 都美,村木 功,宮脇 敦士,谷口 雄大,小宮山 潤	公衆衛生学は学際的な領域であるため，健康問題の要因とその解決・支援方法，それに係る社会的制度等について，基本分野に加えてさまざまな関連分野から，基礎的知識と研究方法を習得する必要がある．そこで本科目では，公衆衛生の基本分野と関連分野から，生活環境学，ヘルスサービスリサーチについて論じるとともに研究法について解説する	11/29，11/30,2/14 オンライン(オンデマンド型) 必修．原則としてオンライン（オンデマンド型）で実施する．各担当教員により，実施形態は対面やオンライン（オンデマンド型），オンライン（同時双方型）等となる場合もある．詳細はManaba等で事前に周知する．2/14はFD講演会・博士論文成果発表会．令和元年度までの「02EU003 ヒューマン・ケア科学基礎論III」に対応する			パブリックヘルス学位プログラム(5年制博士課程)	○